



ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会 長/松 田 基	創 立/昭和38年10月2日
幹 事/荒 川 泰 士	例会日/水曜日 12:30～13:30
会報委員長/星 野 努	例会場/新ロイヤルホテル四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2537

第2668回 平成30年4月25日(晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 伊與田 紗希様

5月2日(水)：休会(定款第8条第1節)

5月9日(水)：新会員スピーチ 上野 力会員

【会長挨拶】松田 基会長

・皆さん、こんにちは。本日のゲストはカドルファミリーの伊與田様、岩瀬様です。

・新聞コラムを紹介します。3月14日に亡くなった英国の物理学者スティーブン・ホーキング博士が、ロンドンのウェストミンスター寺院に埋葬されるという。近くにはニュートンやダーウィンが眠る。話し相手には困るまい。博士は急速に進化する人工知能(AI)について「独自の意思を持ち始める可能性がある」と脅威を語り、社会に役立つものにするには「やるべきことがたくさんある」と述べていた。

AIと境遇が似てきたのが、先日のG20財務大臣・中央銀行総裁会議で「暗号資産」と呼ばれることになった仮想通貨だ。基礎となる技術がもたらす効率性や経済改善の可能性は評価されるも、「ある時点で金融安定に影響を及ぼす可能性がある」と注文がついた。

マネーロンダリング(資金洗浄)への悪用など危険性を排除できる道を探し出さねばならない。いち早く交換業者の登録制を導入し、トラブルも経験した日本なら、先導役に打ってつけだろう。

【幹事報告】荒川泰士幹事

- ・地区ロータリー財団事務所より来年度補助金支給内定のお知らせ
「かまどベンチ」支給額 1600ドル
- ・米山記念奨学会より
3月の寄付金傾向と納入明細表配信
- ・四万十RCより例会変更 5/1(火)休会
5クラブ親睦コンペの記念写真(回覧)
- ・四万十川ウルトラマラソン実行委員会より
ボランティア協力要請10月21日(日)開催
- ・四万十川国際音楽祭実行委員会より
2018年度の後援依頼
- ・幡多信用金庫より
第26回四万十川俳句全国大会開催のご案内
5/19(土)13:30～新ロイヤルホテル四万十
講師・選者 夏井いつき先生
- ・親睦レクリエーション「蛍狩り」のご案内
5/27(日)18時45分「さこや」集合

【委員会・会員発言】白木ロータリー財団委員長

本日、2名の方より100ドル頂きました。ありがとうございました。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 伊與田 紗希様 (カドルファミリー)



Cuddle family～やさしく寄り添う家族～

皆さん、こんにちは。私たちカドルファミリーは、四万十市で子育て中の母親8人によるボランティア団体です。現在、アピアさつきで「子育てひろば」の運営管理と、月に1回程度のキッズイベントを開催しております。今日は「四万十市をさらに子育てしやすい街に」をテーマに話したいと思います。

運営の主体となる「子育てひろば とことこ」は、3/18よりアピアさつき1階にオープンしました。利用料無料の子供の遊び場です。誰でも利用可能で、対象は生後すぐから小学校就学前後の子供たちを想定しています。

約束事項として、常にスタッフがいる託児所ではないので、必ず大人の付き添いで遊んで頂き、すべての責任は付き添いの方のもとにあります。

管理方法は、日に1回以上メンバーが、自分の仕事が終わったあとに掃除・消毒をしています。

「とことこ」では、遊び場や、おむつ替えのスペースを構えています。ご意見感想ノートを置いて、主催者側の独りよがりな広場にならないように、利用者さんの声を組み上げています。

キッズイベントですが、月に1回程度は開催できたらと思っています。オープニングイベント時には150名くらいの方に参加頂きました。毎月18日が米食の日と言うことで、お米屋さんから寄付していただいたお米を使ってのおにぎりの配布や、ボランティアの方による読み聞かせなどを行いました。4月は親子でのトランポリン教室と、親子ふれあいマッサージの2回開催しました。これからも引き続き企画開催していきます。

「とことこ」の利用状況ですが、3/18～3/31の間に大人243名、子供333名の計576名。4月は760名の利用者がいました。人数の把握は「とことこ」を利用するにあたり、利用者ノートに記入して頂いてカウントしています。集計の目的として、『1.母親だけでなく父親も足を運びやすいものになるか 2.子育て両親だけでなく、祖父母世代も来所してもらえるか 3.子供が複数いる家庭の利用があるか 4.すべての時間帯に利用したい家庭があるか 5.他県からの利用があるか』などを集計しています。

他県からの利用として、北は仙台から南は鹿児島の方もご利用していました。先日は大阪からSNSで「とことこ」を知って、見学に来られた方もいました。

立ち上げのきっかけは、子育て世代にアンケートを取った結果、土日祝日や悪天候のときに公園以外での遊び場が欲しいとか、キッズイベント希望という意見などが多かったので、頂いた意見を形にしなきゃと思いスタートしました。

子育て支援に必要とされるものは、子供の成長の早さと並走するスピード感。世代によって移り変わるニーズへの臨機応変な対応力です。

なぜ、アピアさつき内にオープンしたのかと良く聞かれますが、誰もが利用でき、年間通して朝から夜まで営業している。老若男女が利用する商業施設であるので、地域で子供たちを見守って欲しい。「いろどりかふえ」など地域のイベント開催実績があることなどが理由です。

以上、育児に家事に仕事に忙しい子育て中の家族に対する支援及び地域のお年寄りと子供たちが気軽に触れ合える居場所づくりとして、子育てひろば「とことこ」を中心とした世代間交流などを目的に活動したいと思っています。

皆様方の温かいご支援ご協力をお願いします。本日は、ご清聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

- 田中会員：白木さん、安岡さんこの度はおめでとうございました。
- 白木（一）会員：先日、色あせてはいますが、鯉のぼりが上がりました。
- 一藤会員：5クラブ親睦コンペで少し良いスコアでした。

【出席報告】	・会員総数51名（免除会員4名）	・先々週の訂正	MU8	67.39%→84.78%
	・本日の出席/33名 71.74%	・先週の訂正	MU8	69.57%→86.96%